

南軽井沢のメガソーラー設置計画を知っていますか？

南軽井沢・発地にメガソーラーの設置が計画されています。

これは3万坪の森林をすべて伐採して、太陽光発電パネル2万枚を設置するという計画で、豊かな緑が破壊されることを意味しています。

計画の場所の地目は「原野」ですが、現状は「緑豊かな森林」です。清涼な空気を作り出す木々が何万本とあり、森には小動物や野鳥、野の花が生息しています。

自然エネルギーをつくりだすこと自体、反対ではありませんが、このような自然を破壊してまでこの場所にメガソーラーを設置することには疑問を感じます。

実際、パネル設置のために、何万本という木々を切り、運び出すことは考えただけでも大変なことがわかります。木々を切る騒音や轟音、運び出すトラックの往復など、その時間とエネルギーは想像を絶するものがあります。いったい、この場所にそれほどかけるだけの必要性があるのでしょうか。

3万坪は東京ドームの2倍以上あり、300坪の別荘地だとしたら100区画分にあたります。これだけの広大な土地をパネルで覆ってしまうことで、軽井沢の自然環境に何も影響がないわけがありません。大きな森は清涼な空気を作りだし、避暑地軽井沢に爽やかな風を送り続けてきたはずです。この広大な森を失って、人工的でメタリックなパネルで埋め尽くすことが、「緑ゆたかな軽井沢」にふさわしいことと言えるでしょうか。

A. C. ショー始め、先人たちは軽井沢の自然を愛し、120年以上の間、住民たちも大切に自然を守ってきました。

軽井沢町もこのように宣言しています。

●「緑ゆたかな高原の自然を愛し守りましょう」(昭和48年輕井沢町制定 軽井沢憲章)

●「自然と文化が奏でる軽井沢」を町の理念とし、「軽井沢の伝統とすぐれた自然を保全する」(平成25年制定 第5次軽井沢町長期基本計画)

●「軽井沢町の美しく豊かな自然・景観が長野県のみならず、日本全国、さらには世界中の人々にとっての貴重な財産であり、将来の世代に引き継がなければならない社会的共通資本」(平成17年輕井沢町長宣言による「軽井沢まちなみメソッド宣言」)

以上、はっきり自然景観が軽井沢にとって大切なものであることを軽井沢町は謳っています。私たちはこれに違反するものとして抗議し、この計画に反対します。

2014年10月

南軽井沢・発地メガソーラー計画を考える会